

評価対象年度	令和 元 年度
1次評価日（主幹等）	2年3月31日
2次評価日（課長等）	2年3月31日

# 事務事業評価表（一般事業）

1 事業名	読書普及活動事業	コード	5112
-------	----------	-----	------

2 担当部課	部等	教育部	課等	生涯学習課（図書館）	作成者	伊藤 史佳
--------	----	-----	----	------------	-----	-------

3 事業概要	目的体系	基本目標	未来の担い手を育み、生涯を通じて学ぶまち		
		政策	生涯学習の推進	施策	生涯学習の推進
		予算科目	読書普及活動費	業務委託	なし（直営）
		実施義務	あり（義務的・標準的事業）	国県補助	なし
		根拠法令	図書館法（第1条：図書館の設置及び運営について必要な事項を定める。）		

## ●事業の内容（D0）

4 事業の概要等	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要（簡潔に）	おはなし会やイベント、講座等の開催により図書館を身近な存在にし、読書普及を図る。		
目的	対象者	市民	
	意図	読書普及活動を通じて子どもから一般市民まで、読書に関する意欲を喚起する。	

5 事業の実施内容	*元年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容		
	<p>(1) 岡谷市子ども読書活動推進会議 8/2、2/27、メモリーブック部会 10/2、ビブリオバトル部会 10/31                  (2) 第3次岡谷市子ども読書活動推進計画に基づく新規施策 ①学校図書館との連携（市立図書館返却ポストの設置及び物流システム）・市内11小中学校図書館返却ポスト設置数 11個・利用状況 小学校304（返却195、リクエスト109）、中学校84（返却49、リクエスト35）②こども読書活動ボランティア養成事業「ポポーキッズ」参加人数 2名 ③こども読書会議「OKAYAこどもビブリオバトル開催事業」※新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期・参加企業 10社・エントリー及び司会担当児童生徒数13人（1保育園、小学生1名、中学生4名、高校生7名）                  (3) おはなしの森等 ①おはなしの森＜毎週土曜日＞・ちいさなおはなしの森＜毎月第3火曜日＞・日曜日のちいさなおはなしの森＜6/30・9/29・11/10＞ 開催数 10回 参加人数 689人 ②春だよ！スペシャル 参加人数 延べ77人・エブロンシアター、絵本読み聞かせ、パネルシアター、岡谷東高校ボランティア部による大型絵本の読み聞かせ等 4/21・としょかんオリエンテーリング 4/21～4/22 ③夏休み特集おはなしの森 7/31参加人数5人 ④こわ～いおはなしの森 8/3参加人数 25人 ⑤図書館移転40周年記念事業12/21・1部「としょかんアニメ上映会」参加人数54人・2部「クリスマス特集」参加人数29人                  (4) 「うち読でエコ読」事業・広報への掲載、うち読本コーナーの設置 (5) ファーストブックプレゼント事業（10ヶ月児健診時配布）・配布数 305冊 (6) 子ども工作教室（夏）7/27 参加人数 27人、（冬）※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止                  (7) としょかん子ども読書まつり＜10/26～10/27＞・関係11団体との協力事業 参加人数 延べ 580人 (8) としょかんキッズ（1日図書館員）・小学4年生から高校生対象 参加人数 9人＜夏休み図書館キッズ9人＞ (9) おやこルームの開設 利用者 14人                  (10) 職員派遣による普及活動・乳幼児学級・乳幼児サークル、10ヶ月健診での読み聞かせ 19回 参加人数 815人                  (11) むいぐるみのおとまり会 11/23～11/24 参加人数 33人 (12) まちかど図書館事業                  ①市内公共施設に設置（ロマネット、諏訪湖ハイツ、生涯学習活動センター、勤労青少年ホーム、市役所ロビー、市民総合体育館、美術考古館）                  ②出張まちかど図書館（確定申告会場）(12) 図書リサイクル事業（読書サークル協議会との協働事業） 9/29・リサイクル図書数 874冊 来館者数 延べ176人 (13) 本の福袋 1/4～1/28（※無くなり次第…3週間） 210冊 (14) 読み聞かせ講座・講演会（おはなしだいすきポポーの本事業）・11/16(52人)・1/25(40人) 参加人数 延べ92人 (15) 図書館DC講座（兼テーマブックコーナー）・食育月間 6/1～6/20・男女共同参画週間 6/23～29・岡谷市防災の日 7月・健康増進月間 9/13～9/27・自殺予防週間 9/10～9/16                  (16) 読み聞かせ、行事、一般業務ボランティア 参加人数 延べ180人 (17) 図書館はつらつ来（らい）ぶらり講座 第1回11/1（講座 懐かしい風景あの頃の岡谷※湊公民館いちい学級とのコラボ）参加人数 30人 第2回12/15（絵本と女声アンサンブルのコラボレーション）参加人数 35人</p>		
前年度の課題への対応	学校図書館との連携、こども読書ボランティア養成事業、こども読書会議における地元企業とのコラボレーション企画「OKAYAこどもビブリオバトル」について全て事業化。		

6 指標の達成状況	*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度				
	区分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
① 活動指標（指標名）	読書普及活動事業の開催数				単位 回
	実績値	99	101	119	
	*指標の説明	市民を対象とした読書普及活動事業の開催数			
② 成果指標（指標名）	事業への参加人数				単位 人
	目標値	4,000	4,000	4,000	4,000
	実績値	3,050	2,852	3,588	
	達成度	76.3%	71.3%	89.7%	
	*指標の説明	市民を対象とした事業への参加人数			
	*目標値の設定方法の説明	過去3年間の参加人数の最高値			

7 ア) コストの推移

\* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
① 直接事業費	130,801	69,787	69,838	378,000
経常経費	130,801	69,787	69,838	378,000
臨時的経費				
* 臨時的経費の説明				
区分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
② 人件費	4,800,000	4,800,000	4,800,000	4,800,000
正規職員の人数(人)	0.60	0.60	0.60	0.60
③ 合計コスト(①+②)	4,930,801	4,869,787	4,869,838	5,178,000
前年度比		98.8%	100.0%	106.3%
財源	4,930,801	4,869,787	4,869,838	5,178,000
一般財源				
内訳				
特定財源				
* 特定財源の説明				
④ 活動一単位あたりコスト	49,806	48,216	40,923	
前年度比		96.8%	84.9%	
⑤ コストに関する補足説明	・新規施策「ファーストチョイス(セカンド)ブック事業」分の増。			

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名		29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金 等合計金額及び割合	合計金額	0	0	0	0
	割合	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%

\* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

\* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与するべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

\* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	1	
成果指標の実績値 前年度比	125.8%	
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。		0
成果指標の目標値 達成度	89.7%	

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること) ・読書活動ボランティアや地域住民に図書館事業へ参画いただき（市民総参加型図書館として）「滞在型図書館」「課題解決型図書館」を構築するための調査研究が必要である。	
	改善方法	(上記の課題をふまえて2年度以降に実施する、具体的な改善の内容) ・PTA図書委員会、読書ボランティア団体、地元企業等とのコラボレーション事業や意見交換会を実施し、地域に根ざした活動を増やすことで「読書」が生活習慣の一部となることに繋げる。
改善開始時期		2020年度中

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による2年度の優先度 *H30年度施策評価表より転記すること	A
-----------	--------	--	---